

地域の担い手支援 ～指導農業士～

指導農業士って？

高度な生産技術や経営管理能力を持ち、次世代の農業担い手に対して助言や研修受け入れを行います。地域の関係機関とも協力・連携しながら担い手育成を行う農業者の方です。北海道指導農業士は、北海道知事からの認定を受けて活動しています。

指導農業士はどんな活動をしているの？

根室管内の指導農業士は、こんな活動をしています。

- ◎農業大学校や高校、大学などの学生、新規就農希望者など、研修生の受け入れ
- ◎新規就農者との現地研修会や交流会を通じた助言、指導
- ◎青年農業者会議での審査や助言
- ◎根室管内漁業者や他管内の指導農業士との情報交換
- ◎地域の農業振興に対する助言及び提言

このほか、日常的にそれぞれの地域における担い手への生産技術などの助言等を行っています。

昨年、新たに指導農業士に認定されたお二人に、想いや抱負をうかがいました！

標津町古多糠地区 須田良紀氏に聞く

現在の取り組み

標津町の「就農トレーナー」としても登録されている須田さんは、研修牧場として新規参入希望者の受け入れを行っています。

研修終了後も、酪農技術に限らず生活面でも新規就農者の良き相談役となり、活躍されています。

また、根室管内指導農業士会の活動にも積極的に参加し、自己研鑽に努めている、とのこと。

今後の活動について、次のように語ってくれました！



まずは、今年の10月に新しく就農が決まっている方への就農前後の支援をしっかりとやりたい。

地域の農家戸数の減少が目立つ中、「この地域で就農したい」と思ってもらえる取り組みを積極的に行い、地域の活性化につながる活動を行いたい。

別海町西春別地区 田中博行氏に聞く

価値観の多様化

地域に後継者が多くいるなかで、グループ活動が活発化しています。昔は「技術の追求」が活動のメインでしたが、今は担い手の価値観が多様化しており、「仲間づくり」がメインのグループも出てきています。



～経営者の皆さんへ～ 失敗の経験が、担い手を育てる

経営者が、後継者に経営を譲る日は必ず来ます。その際、後継者なりの考えややり方があるため、経営を「全て任せる」という意識を強く持つべきだと思います。多少の失敗を経験してこそ、担い手は育ってくれるのではないのでしょうか。

～地域の皆さんへ～ 後継者が夢を持つきっかけを

古い施設の建て替えが増えており、投資意欲が向上し、地域が活性化してきています。投資は、後継者が夢をもつきっかけになり、地域の基盤強化につながるのではないかと思います。

～担い手の皆さんへ～

客観的に自分の経営を見ることは大切です。例えば、実習生の受入は「自分の経営はどう見られているのか？」と考えるきっかけになります。農場外の人とも積極的に交流し、視野が広がるような経験を積んでほしいと思います。

